

2003年度事業報告

1. 日本循環器学会年次学術集会

第68回日本循環器学会総会・学術集会

会期：2004年3月27日(土)～29日(月)

会長：上松瀬勝男(日本大学内科学講座内科2部門)

会場：東京国際フォーラム

メインテーマ：

循環器学の社会への貢献－基礎・臨床・予防－
The Role of Cardiovascular Medicine in Society,
Basic Science and Population

美甘レクチャー

再灌流療法の過去、現在と将来展望
Reperfusion Therapy : Present and Future
Spencer B. King III(前 Emory 大学)

真下記念講演

生命の“要”分子モーター KIFs：遺伝子、構造、
機能、動態そして疾患
Molecular Motors, KIFs, Key Molecules for
Life : Genes, Structure, Function, and Disease
廣川 信隆(東京大学大学院医学系研究科細胞生物学)

特別講演

- ・ Immunomodulation of Atherosclerosis : The Concept of an Anti-atherosclerotic Vaccine
Prediman K. Shah (Cedars-Sinai Medical Center, USA)
- ・ Percutaneous Heart Valve Implantation for the Treatment of Calcific Aortic Stenosis
Alain Cribier (Hopital Charles Nicolle, France)
- ・ Cardiovascular Implications of Treatment for Erectile Dysfunction
Robert F. DeBusk (Stanford University School of Medicine, USA)
- ・ Intravascular Ultrasound Imaging to Assess Atherosclerosis Progression and Regression
Steven E. Nissen (The Cleveland Clinic Foundation, USA)
- ・ Proposed Reentrant Circuits in Four Forms of AYNRT
Warren M. Jackman (University of Oklahoma Health Science Center, USA)

会長講演

急性心筋梗塞治療の進歩
上松瀬勝男(日本大学内科学講座内科2部門)

プレナリーセッション

1. ACSの予防から治療まで
2. 炎症と動脈硬化－基礎から臨床へ－
(Inflammation and Atherosclerosis : From Bench to Bedside)
3. 心房細動：基礎から臨床へ
(Atrial Fibrillation : From Bench to Bedside)
(ACS : Prevention to Treatment)
4. 冠インターベンション後再狭窄2003－再狭窄の克服に向けて－
(Restenosis after PCI 2003 : New Therapies for the Next Generation)
5. 再生医療の現状と将来の展望
(Regeneration Therapy : Current Status and Future Perspectives)
6. 医療経済からみた虚血性心疾患診断における画像診断の役割
(Role of Diagnostic Imaging in the Management of Coronary Artery Disease and Its Cost Effectiveness)
7. 健康増進法施行と循環器病予防
(Health Promotion Act and Cardiovascular Disease Prevention)
8. 日本型移植医療をどう作るか－細胞・組織・臓器－
(Toward Optimal Transplant Programs in Japan－from Cellular, Tissue and Solid Organ Aspects)
9. 高齢者の循環器疾患－何をどこまで治療するか－
(Cardiovascular Treatment in Elderly : In Whom? How Aggressive?)

シンポジウム

1. 心血管内分泌系：アンジオテンシン受容体・アルドステロン受容体研究の新展開
(Cardiovascular Neurohumoral System - Novel Aspect of Angiotensin and Aldosterone Receptor)
2. 高血圧の分子機序とテーラーメイド医療
(Hypertension : From Molecular Mechanisms to Tailored Therapy)
3. 不安定プラークの可視画像化への挑戦
(Imaging Vulnerable Atherosclerotic Plaque : the Evolving of New Imaging Technique)

4. ゲノムからみた動脈硬化の発症機構と臨床 (Molecular Mechanism of Atherosclerosis)
5. インフォマティクスを利用した心血管ゲノム医学 (Genome Informatics of Cardiovascular System)
6. CPA の治療は改善されたか (Treatment for CPA: Improving the Current Status?)
7. 日本人における冠動脈疾患の長期予後—薬物治療, PCI, 外科治療— (Longterm Prognosis of Japanese Patients with Coronary Disease: Medical Therapy, PCI, Surgical Intervention)
8. 再生医療どこまで可能か (Regeneration Medicine of Cardiovascular Diseases)

ジョイント・シンポジウム

1. AHA/JCS ジョイント・シンポジウム
Molecular Mechanism of Heart Failure
2. ACC/JCS ジョイント・シンポジウム
Postgraduate Cardiology Education: A Comparison of the US and Japan
3. ESC/JCS ジョイント・シンポジウム
Physical Therapy for Heart Failure
4. APSC/JCS ジョイント・シンポジウム
Emerging Issue in Cardiology for Asian

ラウンドテーブルディスカッション

1. 日本における大規模臨床試験の現状とその問題点 (Clinical Megatrials in Japan: Present Status and Future Problems)
2. 今後の保険診療の問題点と対策 (How to Do in A New Paradigm of Japanese Medical Insurance)

トピックス

コントロールバーシー

ミートザエキスパート

モーニングレクチャー

一般演題(口演, ポスター, Featured Research Sessions)

循環器教育セッション

1. 循環器救急医療
2. 虚血性心疾患の画像診断の進歩—心筋梗塞・狭心症の治療法選択・経過観察のためのポイントを中心に—
3. 大動脈・末梢動脈疾患の現状と新しい展開

第3回禁煙推進セミナー

「禁煙率を上げるにはどうすべきか (喫煙率を下げるには?)」

医師向け心肺蘇生法セミナー

「我が国における心肺蘇生法普及の今後の展望について—地域は究極のCCUとなり得るか?—」

サテライトセミナー (ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー)

コメディカルセッション

「患者とのより良いコミュニケーションのために」
Communicating with Your Patients: How to Improve Your Skill

市民公開講座

「心臓病からあなたを守る生活習慣」

—一般人のための心臓病の理解—間違った知識の整理—

「心臓病と良い生活習慣」

—心臓病を予防する生活法と心臓病の患者さんの望ましい生活法—

第2回禁煙推進市民公開講座

「心臓病や脳卒中予防にはノー・スモーク—たばこを上手にやめましょう—」

心肺蘇生法市民公開講座

「いざという時役に立つ心肺蘇生法」

ガイドラインに学ぶ

良好な患者・医師関係を構築するためのインフォ—ムド・コンセント講演会

施設基準はどうあるべきか

—循環器診療の質を担保するシステムを考える—
循環器病研究の進歩

機器・書籍展示・展示セミナー

第21回Young Investigator's Award

審査委員長 山口 徹(虎の門病院)

・相澤健一(東京大学循環器内科)

Novel Transcriptional Mechanisms of the Vascular Pathogenic Response

・赤澤 宏(千葉大学循環病態医科学)

Diphtheria Toxin-Induced Autophagic Death of Cardiomyocytes Plays a Pathogenic Role in Mouse Model of Heart Failure

・磯田菊生(防衛医科大学第一内科)

Deficiency of Interleukin-1 Receptor Antagonist Increases the Atherosclerosis in Apolipoprotein E-Deficient Mice

・尾池雄一(慶應義塾大学発分化生物学教室)

Angiopoietin-Related Growth Factor(AGF) Promotes Angiogenesis

第2回国際留学生Young Investigator's Award

審査委員長 永井良三(東京大学循環器内科)

・趙 慶偉(九州大学大学院循環器内科)

Essential Role of Vascular Endothelial Growth Factor in Neointimal Hyperplasia after Perivascular Injury in Hypercholesterolemic Mice

・鈕 培(東京大学循環器内科)

Protective Effects of Endogenous Adrenomedullin on Cardiac Hypertrophy, Fibrosis and Renal Damage

・Alexei Alechine(大阪大学臓器制御外科)

A Novel Stress Protein, ORP-150/HSP12A Attenuates Myocardial Hypoxia-reoxygenation Injury in Rat Heart: A Promising Role of ORP-150 in Myocardial Protection

・Sunu Budhi Raharjo(神戸大学循環呼吸器病態学)

Comparable Effects of the Dual ECE/NEP Inhibitor CGS26303 Versus ACE-Inhibitor Temocapril in Hypertrophic Left Ventricular Myocardium During Transition to Heart Failure

・秦 穎潔(千葉大学循環病態医科学)

Granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) exerts beneficial effects on myocardium after infarction through activating Jak/STAT signaling cascade and increasing VEGF expression in cardiomyocytes

・Goditha Upul Premaratne(京都大学心臓血管外科)

Repeated Implantation is More Effective Cell Delivery Method in Skeletal Myoblast Transplantation for Chronic Myocardial Infarction

第12回 CPIS(心臓血管薬物療法国際会議)賞

審査委員長 竹越 襄(金沢医科大学循環器内科)

・田原宣広(久留米大学第三内科)

Prostacyclin Synthase Gene Transfer into Skeletal Muscles Ameliorates Monocrotaline-induced Pulmonary Hypertension and Prolongs Survival in Rats

第13回八木賞

審査委員長 山口 巖(筑波大学臨床学系内科)

・王 英正(京都大学探索医療センター)

Cardiac Progenitor Cells from Adult Myocardium: Homing, Differentiation, and Fusion after Infarction

第4回高安賞

審査委員長 松崎益徳(山口大学循環病態内科学)

・福本義弘(九州大学冠動脈疾患治療部)

The Incidence and Risk Factors of Cholesterol Embolization Syndrome, a Complication of Cardiac Catheterization: A Prospective Study

第29回日本心臓財団佐藤賞

審査委員長 上松瀬勝男(日本大学内科学講座内科2部門)

・筒井裕之(九州大学循環器内科)

心不全における心筋障害進展の細胞・分子機序の解明

2. 日本循環器学会地方学術集会

第89回北海道地方会

会期: 2003年6月7日(土)

会場: タケダ札幌ビル(札幌市)

会長: 島本和明(札幌医科大学第二内科)

参加人数: 250名

発表演題: 47題

第90回北海道地方会

会期: 2003年10月11日(土)

会場: タケダ札幌ビル(札幌市)

会長: 北島 顕(北海道大学循環病態内科学)

参加人数: 約130名

発表演題: 48題

第136回東北地方会

会期: 2003年6月7日(土)

会場: 岩手医科大学六十周年記念館(盛岡市)

会長: 三浦 博(秋田大学第二内科)

参加人数: 223名

発表演題: 54題

第137回東北地方会

会期: 2004年2月7日(土)

会場: 齋藤報恩館(仙台市)

会長: 久保田功(山形大学内科学第一講座)

参加人数: 140名

発表演題: 71題

第188回関東甲信越地方会

会期: 2003年6月7日(土)

会場: 文京区民センター(文京区)

会長: 倉林正彦(群馬大学第二内科)

参加人数: 814名

発表演題: 107題

第189回関東甲信越地方会

会期：2003年9月20日(土)
会場：文京区民センター(文京区)
会長：磯部光章(東京医科歯科大学循環器内科)
参加人数：654名
発表演題：114題

第190回関東甲信越地方会

会期：2003年12月6日(土)
会場：文京区民センター(文京区)
会長：一色高明(帝京大学内科)
参加人数：606名
発表演題：104題

第191回関東甲信越地方会

会期：2004年2月28日(土)
会場：文京区民センター(文京区)
会長：百村伸一(虎の門病院循環器センター内科)
参加人数：620名
発表演題：99題

第121回東海地方会

会期：2003年6月14日(土)
会場：岐阜大学(岐阜市)
会長：湊口信也(岐阜大学第二内科)
参加人数：520名
発表演題：163題

第106回北陸地方会

会期：2003年7月20日(日)
会場：福井医科大学(福井県吉田郡)
会長：宮森 勇(福井医科大学第三内科)
参加人数：約300名
発表演題：68題

第122回東海・第107回北陸合同地方会

会期：2003年11月29日(土)～30日(日)
会場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会長：林 秀晴(浜松医科大学第三内科)
参加人数：710名
発表演題：206題

第95回近畿地方会

会期：2003年6月21日(土)
会場：大阪国際交流センター(大阪市)
会長：北浦 泰(大阪医科大学第三内科)
参加人数：863名
発表演題：153題

第96回近畿地方会

会期：2003年11月29日(土)
会場：国立京都国際会館(京都市)
会長：米田正始(京都大学心臓血管外科)
参加人数：662名

発表演題：141題

第82回中国地方会

会期：2003年5月24日(土)
会場：グランヴィア広島(広島市)
会長：末田泰二郎(広島大学第一外科)
参加人数：437名
発表演題：146題

第82回四国地方会

会期：2003年5月24日(土)
会場：高知市文化プラザかるぽーと(高知市)
会長：浜重直久(近森病院循環器科)
参加人数：272名
発表演題：99題

第83回中国・四国合同地方会

会期：2003年11月28日(金)～29日(土)
会場：徳島プリンスホテル(徳島市)
会長：北川哲也(徳島大学心臓血管外科)
参加人数：412名
発表演題：188題

第94回九州地方会

会期：2003年6月28日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：田中二郎(麻生飯塚病院循環器センター)
参加人数：600名
発表演題：112題

第95回九州地方会

会期：2003年12月6日(土)
会場：別府B-con Plaza(別府市)
会長：犀川哲典(大分大学臨床検査医学)
参加人数：454名
発表演題：141題

3. 学術調査・研究

- 1 不整脈薬物治療に関するガイドライン
(班長：児玉逸雄)
- 2 循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン
(班長：笠貫 宏)
- 3 急性および慢性心筋炎の診断・治療に関するガイドライン
(班長：和泉 徹)
- 4 肺血栓・塞栓症および静脈血栓症の検査・治療・予防に関するガイドライン
(班長：安藤太三)
- 5 循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン
(班長：吉川純一)
- 6 心臓核医学検査ガイドライン

(班長：玉木長良)

7 禁煙指導のガイドライン

(班長：藤原久義)

8 心疾患患者の妊娠，出産の適応，管理に関するガイドライン

(班長：中澤 誠)

9 心臓突然死の予知と予防法のガイドライン

(班長：相澤義房)

4. 循環器関連学会

第33回日本心臓血管外科学会

会期：2003年5月14日(水)～16日(金)

会場：ロイトン札幌(札幌市)

会長：安田慶秀(北海道大学循環器外科学)

第18回日本心臓ペースング・電気生理学学会

会期：2003年5月25日(日)～27日(火)

会場：国際交流センター(大阪市)

会長：佐々木進次郎(大阪医科大学胸部外科)

第12回日本心血管インターベンション学会

会期：2003年6月19日(木)～21日(土)

会場：京王プラザホテル(新宿区)

会長：相澤忠範(助心臓血管研究所付属病院内科)

第39回日本小児循環器学会

会期：2003年7月16日(水)～18日(金)

会場：神戸国際会館(神戸市)

会長：山口眞弘(兵庫県立こども病院心臓胸部外科)

第51回日本心臓病学会

会期：2003年9月8日(月)～10日(水)

会場：東京国際フォーラム(千代田区)

会長：小川 聡(慶應義塾大学呼吸循環器内科)

第20回日本心電学会

会期：2003年9月8日(月)～9日(火)

会場：東京国際フォーラム(千代田区)

会長：岸田 浩(日本医科大学第一内科)

第35回日本動脈硬化学会

会期：2003年9月27日(土)～28日(日)

会場：国立京都国際会館(京都市)

会長：北 徹(京都大学循環病態学)

第56回日本胸部外科学会

会期：2003年11月19日(水)～21日(金)

会場：京王プラザホテル(新宿区)

会長：小林絃一(慶應義塾大学外科)

第7回日本心不全学会

会期：2003年10月23日(木)～25日(土)

会場：大阪国際会議場(大阪市)

会長：堀 正二(大阪大学病態情報内科学)

第26回日本高血圧学会

会期：2003年10月30日(木)～11月1日(土)

会場：ワールドコンベンションセンター・サミット
(宮崎市)

会長：江藤胤尚(宮崎医科大学第一内科)

第44回日本脈管学会

会期：2003年11月6日(木)～8日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)

会長：居石克夫(九州大学病理病態学)

第17回日本冠疾患学会

会期：2003年12月12日(金)～13日(土)

会場：東京ファッションタウン(江東区)

会長：水野杏一(日本医科大学付属千葉北総病院内科)

田中茂夫(日本医科大学第二外科)

第40回日本小児循環器学会

会期：2004年2月7日(土)

会場：フクダ電子株式会社本郷事業所 5階ホール(文京区)

会長：原田研介(日本大学小児科)

第34回日本心臓血管外科学会

会期：2004年2月18日(水)～20日(金)

会場：福岡国際会議場(福岡市)

会長：伊藤 翼(佐賀医科大学胸部外科)

5. 循環器専門医制度

(1) 循環器専門医認定：2003年8月31日，日本都市センター会館(東京)及びレールミエール(大阪)の2会場で第14回認定試験を実施，認定者は494名(2004年3月1日認定)。

(2) 循環器専門医認定更新：2004年度(1994・1999年度認定)循環器専門医1,171名の認定更新及び2003年度(1993・1998年度認定)循環器専門医25名の認定更新が承認された。

(3) 循環器研修施設指定：2004年度指定循環器研修施設は56施設の指定が承認された。

(4) 循環器研修関連施設指定：2004年度指定循環器研修関連施設は46施設が承認された。

(5) 循環器研修施設指定更新：2004年度循環器研修施設は468施設が指定更新された。

(6) 循環器研修関連施設指定更新：2004年度循環器研修関連施設は123施設が指定更新された。

(7) 『循環器専門医』刊行：専門医編集委員会よりVol.11 No.1, Vol.11 No.2 を出版。

Vol.11 No.1 は特集I<基礎科学の進歩>特集II<第66回日本循環器学会学術集会> (B5判220頁)

Vol.11 No.2 は特集<第67回日本循環器学会学術集会> (B5判208頁)。

6. 国際学会後援等

- (1) American Heart Association 76th Scientific Sessions, November 9-12, 2003, Orlando : FL, USA
- (2) American College of Cardiology 53rd Annual Scientific Sessions, March 7-10, 2004, New Orleans:LA, USA
- (3) 25th European Society of Cardiology, August 30-September 3, 2003, Vienna, Austria
- (4) American Heart Association 2nd Asia Pacific Scientific Forum, June 8-10, 2003, Honolulu:HI, USA
- (5) 14th Asian Pacific Congress of Cardiology, January 14-17, 2004, Singapore
- (6) 第13回国際動脈硬化学会学術会議 2003年9月28日～10月2日, 国立京都国際会館(京都市)

7. 機関誌刊行

- (1) 機関誌 Circ. J. Vol. 67 2003年は12冊1,163頁, 平均発行部数約21,000部, 原著投稿論文224件1,063頁(91.4%), その他100頁(8.6%)を掲載。
- (2) 和文誌 Circ. J. Supplement は, 4冊1,318頁, 平均発行部数21,000部, 年次学術集会抄録2,451件623頁(47.3%), 地方会学術集会抄録2,320件279頁(21.2%), 学術委員会ガイドライン284頁(21.5%), その他132頁(10.0%)を掲載。
- (3) 2002年の投稿論文(Regular Paper; Case Report)は, 受付384件, 受理論文は212件, 却下172件(辞退を含む)で, 採択率はRegular Paperは66.27%, Case Reportは33.33%であった。
また, Rapid Communicationは, 受付5件, 採択3件, 却下2件で, 採択率は60.00%であった。
- (4) 2003年の投稿論文(Regular Paper, Case Report)は, 受付379件, 内2004年3月8日現在までの採択論文は165件, 却下175件(辞退, 修正期限超過を含む), 修正中39件で, 採択率はRegular Paperは58.94%, Case Reportは21.28%であった。
また, Rapid Communicationは, 受付9件, 採択5件, 却下4件, 採択率は55.56%であった。
査読にはEditorial Boardを含め408名(12号掲載)がその任務にあたった。
- (5) 2002年のImpact factorは, 1.024であった。
- (6) 『循環器専門医』Vol. 11 No. 1, Vol. 11 No. 2: 専門医編集委員会より出版, B5判, 和文誌。
(Circ. J. Vol.67 及び『循環器専門医』誌の刊行

状況は後掲)

8. その他の事業報告

- (1) 平成13年度発足4班分のガイドラインとそのダイジェスト版の報告を公表した。
- (2) 第67回年次学術集会コンgresレポートのホームページへの掲載
第67回学術集会における招請講演等のハイライトを日循ホームページ英語版で報告した。
(AHA, APCC での日循ブースにて日循英語HP紹介のCD-Rを配布)
- (3) 海外学会との共同シンポジウムの実施
 - ①AHA: 第76回AHAの正式プログラムの一部として, AHA/JCS共催のジョイント・シンポジウムを開催した。
 - ②APSC: 第14回APCCの一部として, APSC/JCS共催のジョイント・シンポジウムを開催し, 日循会員を演者として派遣した。
 - ③韓国循環器学会: 第67回学術集会から開始されたジョイント・シンポジウムは, 次回2004年4月に済州島での開催が予定されており, 準備が進められた。
- (4) 海外学会への日循広報ブースの出席
第76回AHA・第14回APCC・第25回ESC・第13回国際動脈硬化学会の展示会場にて, 学会及び学術集会の広報ブースを設置した。
- (5) 卒後教育研修用ビデオの製作・販売
学会員の知識, 技能の向上に資するため, 卒後教育研修用のビデオの企画・制作を行った。
- (6) 禁煙推進活動
禁煙宣言を行い, 循環器疾患の予防と治療にとって重要である喫煙対策を学会として積極的に取り組んだ。
 - 1) 情報発信のホームページの充実
 - 2) 学会員及び循環器研修認定施設の喫煙の実態調査とその評価
 - 3) 各病院施設への要望
 - 4) 総会における医師向け第3回禁煙推進セミナー・禁煙推進のための第2回市民公開講座の開催
- (7) 第2回卒前セミナーの実施
医学生を対象としたセミナーを2003年7月20日(日)に東京大手町サンケイプラザにて開催した。

- (8) 循環器関連健保対策協議会の整備
循環器関連健保対策協議会(循健協)は、会の組織・会則を整備し、診療報酬上で問題と思われる点についての検討・調査および要望書の提出を行った。
- (9) 循環器学用語合同委員会の設置
日循が刊行している『循環器学用語集』について、時代の趨勢に伴い改訂三版の作成が必要となってきた。今回の改訂では循環器学に関連する学会の協力を仰ぐこととし、各学会からの代表委員を選んでいただき検討するように準備を進めている。
- (10) 心肺蘇生法普及活動
第68回学術集会期間中に、ACLS 講習会、医師向けセミナー、市民向けセミナーを開催し、各支部でのACLS講習会実施を推進した。また、ACLS基礎コースのインストラクター認定制度を開始した。
- (11) 「医療倫理に関する講演会」の開催
第68回学術集会期間中に「良好な患者・医師関係を構築するためのインフォームド・コンセント」をテーマに識者を招いて講演会を開催した。
- (12) 「臓器提供意思表示カード」普及・啓発活動
全国の大学・大学校・短期大学・警察学校および自衛隊各地方部隊合計1,426施設に「臓器提供意思表示カード」普及・啓発ポスター、カードおよび運転免許証貼付用シールを配布し、カード普及・啓発活動について各施設に協力依頼をした。「臓器提供意思表示カード」普及率が低い中、若い学生たちに関心を持ってもらうのが活動の狙いで、日本臓器移植ネ

ットワークからポスター等が送付されていない新規施設に送付し、協力を依頼した。

9. その他の刊行物など

- (1) Circulation Journal Vol.67 Supplement IV, 2003 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2001-2002年度合同研究班報告)
- ・感染症心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(班長：宮武邦夫)
 - ・川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(班長：原田研介)
 - ・非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(班長：許俊鋭)
 - ・心疾患患者の学校、職域、スポーツにおける運動許容基準に関するガイドライン(班長：川久保清)
- (2) 循環器研修ビジュアルシリーズ (VHS/CD-ROM)
- Vol.3 「心不全の病態と新しい治療戦略」
 - Vol.4 「抗不整脈薬の使い方(II)」
- (3) 第2回卒前セミナー, テキスト
- (4) 日循英語ホームページ紹介用CD-R(AHA・APCCブースにて配布)
- (5) 禁煙推進のためのガイドブック：あなたにもできる禁煙ガイドPASSPORT to STOP SMOKING
- (6) 禁煙推進のために、循環器疾患と喫煙に関する情報を一般市民にわかりやすく伝えるためのポスター
- (7) 喫煙と循環器疾患に関する情報を一般市民にわかりやすく伝えるための動画(心筋梗塞編・末梢血管疾患編)をホームページ上で公開。

Circ. J. Vol. 67 刊行状況

原 著 論 文			学術集会記録 他			本 文 頁 数 計
論文数	頁 数	抄録数	頁 数	そ の 他 頁 数		
Circ. J. (英文誌)						
No. 1	21	101	—	—	4	105
2	17	73	—	—	5	78
3	22	102	—	—	4	106
4	17	90	—	—	4	94
5	21	104	—	—	4	108
6	20	92	—	—	5	97
7	18	82	—	—	5	87
8	18	77	—	—	5	82
9	16	76	—	—	4	80
10	21	96	—	—	4	100
11	15	74	—	—	4	78
12	18	96	—	—	52	148
小計	224	1,063	—	—	100	1,163
Supplement (和文誌)						
I	—	—	2,451	623	127	750
II	—	—	1,057	126	0	126
III	—	—	1,263	153	0	153
IV	—	—	—	284	5	289
小計	—	—	4,771	1,186	132	1,318
合計	224	1,063	4,771	1,186	232	2,481

『循環器専門医』誌刊行状況 (専門医制度委員会)

Vol.11 No.1	182	38	220
Vol.11 No.2	169	39	208
計	351	77	428